

1.快適な環境……緑・水資源の復活・地球温暖化対策

2.体と心の健康……食品の安心・安全、自給自足農業

3.平和な暮らし……家庭の食から地域・国・地球の平和へ

○耕作放棄地の解消を目指し、市民農園開設と農園利用者への促進を進めます。

○住みよいまちづくり活動として「松江だんだんシェア傘」の定着を進めます。

○生活弱者支援活動の一端を担う「ごようき三河屋」の支援を進めます。

【事業の内容】

①まちネット市民農園事業

平成22年度からスタートした耕作放棄地対策での市民農園事業は、25・26年度「農」のある暮らしづくり交付金事業(農水省)で習得した、土づくり及び野菜の栽培ノーハウをもとに既利用者、新規利用者への指導を徹底し、野菜作りを楽しんでもらい利用率の安定を図る。

◆農園利用:最終30年度目標は89/99区画・利用率90%・事業収入828,000円とし

28年度は59区画501,000円・利用率60%と援農事業で30万円以上を目指します。

◆農園体験教室: 3月～11月の9回開催、

一般参加者@500円×20人会員参加10人・10,000円×9回＝事業収入9万円

◆寄付金: NPOまちネット支援寄付を90口以上21万円以上、社会貢献基金寄付金20万円以上を目指します。

②ごようき三河屋「買い物弱者支援」事業

今年度も引き続き買い物支援を中心に、介護保険外の家事支援や市内専門サービス業者仲介等、使いやすい諸サービスの開発運用に努めて参ります。

事業現場で得られる膨大な顧客情報データ類を整理し安定したリピーターを確保と同時に、新規顧客開発に努める。

買い物宅配による利便性の追求に加え、真の狙いである「生き甲斐創出」の実現に向けた『お出かけ支援』有償旅客運送事業の展開に向けた準備を開始して参ります。

◆利用者数: 延べ8,000客/年(目標)

◆平均利用額: 2,500円以上/件

◆年間売上額: 2,000万円/年(目標)

◆寄付金: ごようきき三河屋支援寄付を30口以上9万円以上を目指します。

③だんだんシェア傘事業

平成24年度スタートした本事業は、市内83ヶ所となり、一般市民・観光客に便利に使っていただきました。26年度同様に本年度もJR米子支社より2000本の寄贈内諾を頂いており、随時補給しております。

還りの傘が不足しており、対策案を検討してきましたが、傘の柄に『シェア傘』シールのあるものを自由に使いまわしてもらう案を進めて行きます。イベント参加や広報により進めて行きます。

◆傘設置ヶ所: 100ヶ所 ◆傘の確保: JRより2,000本・イベント時など個人寄付を自由化

◆寄付金: だんだんシェア傘支援寄付を30口以上9万円以上を目指します。

④新規事業

情報収集に努め、当法人の趣旨に該当するものがあればチャレンジする。

⑤補助金・委託事業

公募型事業の情報収集に努め、当法人の趣旨に該当するものがあればチャレンジする。

⑥行政との協働事業及び他団体との協働事業

・「松江市職員とNPOの合同研修会」に参加し、松江市総合計画に盛り込まれている「共創・協働のまちづくり」を推進。

・松江市と民間団体の共創マッチングへの参加。

・平成24年度からスタートした「松江NPOネットワーク」での情報の共有活動を推進。

・県市の環境フェスタに参加予定。

⑦広報活動等

・認定NPO法人を27年3月認定済み。(平成32年再審査5年平均100口/年以上が要件)

・団体会員3口、個人会員1口の新規入会促進を行ないます。

・ホームページでの広報を行ないます。

・他のNPOや環境関連機関・農業関連機関との交流を行ないます。

・CANPANへの情報公開作業を行ないます。

・島根県NPO推進室、松江市、松江市市民活動センター、社会福祉法人、関係機関等への報告。